

住民説明会（仲道地区）

日 時 7月29日 15:00～16:31

場 所 仲道公民館

参加者 約40名

<市長あいさつ>

お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、お悔やみ申し上げます。

当初捜索活動は手掘りで行っていたが、現在は重機を主体とした部隊編成になっています。

7月29日、国道135号が開通する。

7月30日、東海バス、熱海－湯河原間の運行が再開される。

国が直轄で、逢初川上流部に砂防ダムの新設が決定したが、完成までに2年ほど掛かる予定です。

今後は、捜索活動を行いながら、県・国と緊密な連携をとり、地元の声を聞き、復旧・復興に取り組んでいきます。

7月26日から市役所福祉センター内に相談窓口を設置しました。

市長挨拶後、各担当（水道温泉課、税務課、まちづくり課、長寿介護課、社会福祉協議会より説明

水道温泉課 被害の程度により料金の減免が受けられます。

税 務 課 発行できる証明は、り災証明書、被災証明書、被災届出証明書の三種類ある。これらには、窓口での申請が必要です。

まちづくり課 7月30日から県営住宅、市営住宅の受付けを開始する
市外にいる人たちへの周知が課題であると認識しています。

長寿介護課 被害の程度によって、生活必需品の支援を受けることが可能です。

社会福祉協議会（災害ボランティアセンター） 具体的に何に困っているのか調査を行い、現状を把握していきます。

地域の人からの質問

Q 市役所の窓口をワンストップにできないか。いつからなるのか

A 福祉センターの3Fにブースを設けた。まずは、そこに足を運んでもらうか、電話をしてほしい。

Q 伊豆山小学校は使える目処がたっているのか

A まだわからない。教育の問題は、教育委員会に伝える。

Q アビダシオンは、お風呂に入れない、要望を出している

A 県や国の支援策にどのようなものがあるか確認する

Q 人災と言われているが、市長としてどう思うか

A 土砂の原因については、科学的視点からの調査など、きちんとした検証が必要
また、行政の対応が適切であったかどうか、法律の枠組みが適切かどうかなどです。

Q 先日、避難所から帰宅した。親の送迎がないと学校に行く手段がない。バスを手配して欲しい

A バスについては、もう暫く待つて欲しい

Q 国道 135 号が開通するが、他県ナンバーばかりで渋滞している。どういう意図で県外ナンバーも受け入れているのか

A 国道ということもあり、他県ナンバーを排除することはできない

Q 節水要請が出されたが、いつまで続くのか

A 節水について、ご協力ありがとうございます。泉の浄水場がフル稼働しているところで
す。水源の柿田川の水の復旧が現時点では不可能であるので、引き続き節水にご協力いただきたい。

Q 他の地区の住民説明会の議事録は、HP等に掲載されるのか

A 公開できる範囲で公開したい。検討します。

Q 熱海市へのワクチンを優先接種させてほしい、ニューフジヤや金城館で接種できるようにすればいい

A 今後検討します。